

Web 開発言語「PHP」について

1.PHP誕生から今日まで

PHP/F1の誕生（1995年）

→動的ホームページの誕生

製作者 Rasmus Lerdorf 氏

PHP/F1.2の誕生（?????）

→基本フレームの完成

→オープンソース化

PHP3の誕生（1998年）

→世界標準化への道（日本語版の完成）

PHP4の誕生（2000年）

→プラグインソフトの開発が活発化

→ライブラリの充実

→PEARパッケージ

S m a r t y、J p G r a p h

b a r c o d eなど

テンプレートエンジンのS m a r t y、ライブラリの充実したPEARパッケージ

（キャッシュの制御やフォームの検証）J p G r a p h（グラフ出力）P D O（データ操作）、G D（グラフィクス動的生成ライブラリ）、P D F l i b（PDFドキュメントの生成）Q R c o d e _ s c r i p t（QRコードの読み取り）、B a r c o d o（バーコードの出力）

PHP5の誕生（多分2005年）

*β*版リリースが開始

→オブジェクト指向の壮大な実験 よりC言語に近づいている。

2.PHPの特徴

インストールについて

サーバーの種類を問わずに作動する。

簡単なプログラムなら2日程度で書けるようになる敷居の低さ
(但し奥が深く入り込めば迷宮のようで途方にくれる。)

データベースとの連動により、Webの自動更新が容易

基本的なソフトがすべて無料で入手できる。

アパッチ

PHP

MySQL等

編集ソフトもメモ帳やフリーソフト(秀丸、テラパッド等)で十分。
すべて無料です。

<とても簡単なプログラム例です。>

PHP の簡単さを象徴する有名なプログラムなので紹介します。

赤い部分が P H P 黒い部分が H T M L です。

もし、時間の設定を変更し H T M L 上に昼用のホームページのリンクと夜用のホームページリンクを配しておけば昼と夜二通りの宣伝が可能です。

```
<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01 Transitional//EN"
"http://www.w3.org/TR/html4/loose.dtd">
<html>
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=shift_jis">
<title>午前中だけ表示される</title>
</head>
<body>
<?
if(date("A") == "AM") {
?>
このページは午前中だけオープンしてます。<BR>
.
<?
} else {
?>
現在このページはオープンしていません。<BR>
午前中にご訪問ください。
<?
}
?>
</body>
</html>
```

3.PHPで出来る事と限界

PHPはWeb専用（サーバー用）として生まれた言語。

テンプレート化は容易だがパッケージとするためには別のPHPが必要。（PHPCLI）

4.最新XAMPPの機能紹介

PHPに必要なソフトがすべてひとつになった統合ソフト
Apache, MySQL, PHP5, PEAR, Perl, Openssl, phpMyAdmin, Webalizer,
Mercury Mail, FillaZilla FTP, SQLite, ZEND, Security, GD
PHPの欠点であった設定の煩雑さからの開放

5.制作可能な機能パッケージ案

通常Web制作会社は下記のようなパッケージを数多く所持し
受注によって組み合わせます。

ショッピングカート（PC用、携帯用）

→CGIの典型的なソフトです。

少し手を加えるだけで、さまざまな業種で利用が可能です。



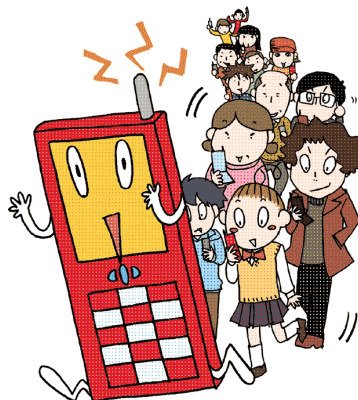
メールチラシの自動生成・配信

- 特売など仕掛ける商店などに使用可能
但し利用方法によっては、非常に危険なプログラムなので十分に注意を要します。
俗にメール攻撃と言われるものはこの変形ソフトです。



店舗数限定のショッピングモール

- 商店街などの共同企画で利用可能



自動予約システム

- ホテル旅館などの部屋別・価格別の自動予約
- 歯科医などの予約システム



新商品の配信サイト（本日入荷の緊急配信など）

- 商店の新製品入荷のお知らせ
- 青果店などの特売のお知らせ
- 鮮魚店の入荷、特売案内



携帯のキャリア別サイトの自動生成

- アクセス時にキャリア判別し、キャリアに応じたHPを発信
若者向けの店や結婚式場などに採用が多いようです。



オンラインアンケートシステム

→アンケートやレポートの自動集計・分析システム

不動産管理データベースと携帯からの自動更新システム

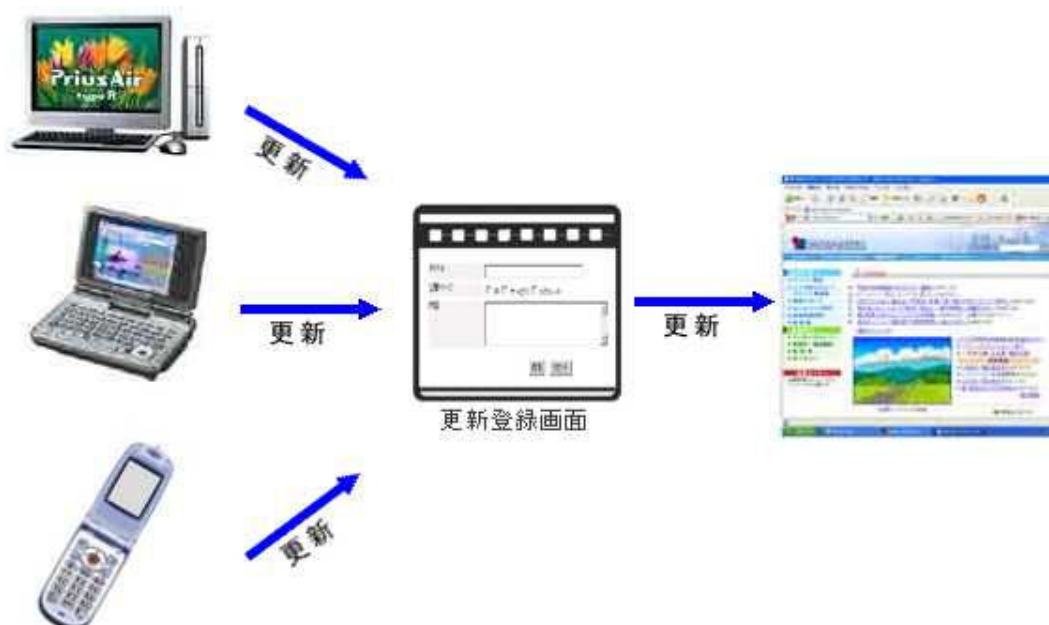
→不動産業などリアルタイムの更新が必要な業種で主に利用される。現地で成約した場合携帯での更新も出来る。



クローズドWeb 業務システム(営業・業務・工事進行・工程管理)

(限定ホームページです)

→営業員や検査などの情報をリアルタイムに受け取り、他の社員の閲覧も可能。 統括ページはさらに暗証が必要



QRコードを利用した会員登録サイト（左がドコモ、右AU）

→最近の携帯はQRコードの読み取りができるものがかなり増えてきています。店の前のコードを写メさせることで顧客の登録数を増やす手段とします。



→アイデア次第ではほぼ全業種に利用可能
→最近はやりのRSSリーダーを付加する方法もあります。

以上